



2016 年 7 月 15 日

資料館通信 第69号

ふじみ野市立 上福岡歴史民俗資料館 埼玉県ふじみ野市長宮 1-2-11 TEL 049-261-6065
大井郷土資料館 埼玉県ふじみ野市大井中央 2-19-5 TEL 049-263-3111

発掘された「戦争」～火工廠と防空壕～を開催中！

上福岡歴史民俗資料館 6/25（土）～8/14（日）

大井郷土資料館 8/20（土）～9/19（月）

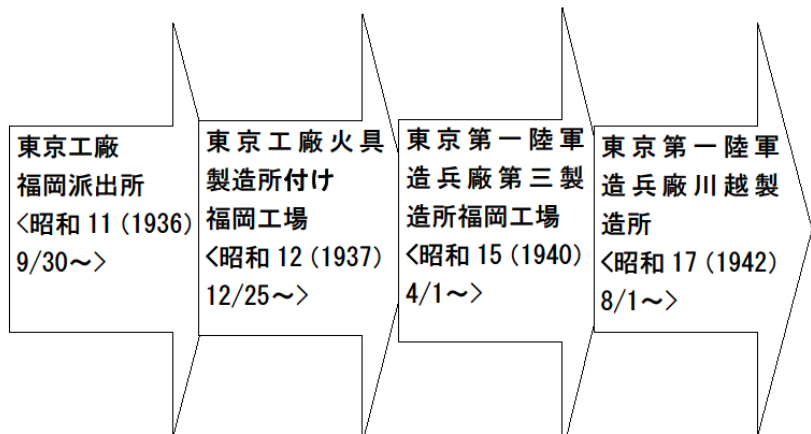
市内には戦時中の昭和 11 年から 20 年まで、陸軍の施設である「東京第一陸軍造兵廠川越製造所」が存在していました。当館では、昭和 58 年からこの「造兵廠（火工廠）」の調査を行ってきました。一方、市教育委員会でも平成 16 年から 26 年にかけて 20 ヶ所前後の試掘調査、発掘調査及び立会調査を行ってきました。当館で収蔵している造兵廠関係資料の公開とともに、これまでの試掘・発掘調査及び立会調査で確認された遺構と遺物、調査成果を紹介し、多くの市民の皆様は戦前・戦中のふじみ野市の様子を周知する機会とし、平和について改めて考えていただけるよう企画展を開催します。

1. 火工廠の概要

陸軍造兵廠は、戦時中にあった陸軍の兵器工場で、明治時代の砲兵工廠を起源とします。

そのうち、東京都北区にあった陸軍火工廠（当時の名）が、近隣地の宅地化進行で拡張できなくなったため、昭和 11(1936)年 8 月、東京工廠福岡派出所として設置されたものが組織の改組に伴い順次拡張し、昭和 17 年 8 月 1 日に、「東京第一陸軍造兵廠川越製造所」となりました。

第一陸軍造兵廠川越製造所の変遷



○共栄会食器に見られる生産者標示記号（統制番号）

戦時中は、昭和 13(1938)年施行の国家総動員法をはじめとする法令によって肥料、食糧をはじめとして経済が統制され、金属不足による陶製代用品の普及が奨励されました。

昭和 15 年 8 月ごろから昭和 21 年ごろの間に生産されたものに、生産地ごとの略称、産地ごとに生産者（窯元）を特定する生産者別標示記号（統制番号）が
共栄会どんぶり高台内部にみられる統制番号



つけられました。戦後は瀬戸焼や万古焼など廃棄した産地が多い中で、肥前や美濃については、奇跡的に記録が残っており、生産者が同定できます。共栄会食器のどんぶりや皿の高台内には、次のような生産者が記されています（「生産者別標示記号」「工場記号番号」について、『美濃の古陶』No. 8 所収、1999 年）。

岐 122 岐阜県多治見市笠原町 西南部陶磁工業組合 加藤三津治

岐 700 岐阜県土岐市妻木町 妻木陶磁器工業組合 水野作一

岐 1065 瑞浪市 瑞浪陶磁器工業組合 美濃窯業株式会社

2. 機関砲弾と機関砲

火工廠では、多様な弾丸が造られていたが代表的なものに、12.7mm機関砲弾、20mm機関砲弾が挙げられます。聞き取り調査によって、マ弾と呼ばれる機関砲弾が造られていて当時は秘密にされていたことと、マ205を製作したという話を聴取しました。12.7mm機関砲は、ホ-103と呼ばれるアメリカ製ブローニングM2機関銃を元にして制作され、標準的な弾丸はマ102及び103であることから、マ弾のうち、マ102及び103、ホ-5用のマ202は確実に生産されていたと考えられます。旧陸軍では、口径12.7mm以上のものを機関砲と呼び、主として機体前方や主翼内部に設けられました。

試掘・発掘調査、立会い調査では、火工廠跡第1地点の防空壕2、排水枡、土坑、穴蔵、水溜7、旧第二小学校の防空壕や2004水槽1、上野台3-3（現上福岡図書館）で機関砲弾が確認されています。

○12.7mm機関砲の開発

陸軍では、昭和14（1939）年のノモンハン事件で防弾装備のソ連機に苦戦したのを契機にアメリカ製ブローニングM2/12.7mm機銃を模倣したホ-103

（ホは、開発時の機関砲の接頭記号）、すなわち「一式十二・七耗（リ）固定機関砲」の開発を行い、生産を主として名古屋造兵廠で行いました。昭和16（1941）年に中国戦線の一式戦闘機「隼」の胴体部にはじめて装備されました。



大阪府交野市星田で出土した 12.7mm 機関砲（交野市人権と暮らしの相談課蔵）

※写真の展示について交野市人権と暮らしの相談課様より平和祈念の趣旨でご承諾いただきました。記して厚く御礼申し上げます。

○20mm機関砲の開発

陸軍では、フランスのオチキス 20mm 砲を元に開発したホ3という 20mm 機関砲を昭和14（1939）年に開発着手、

15年に量産開始し、二式複座戦闘機「屠龍」胴体部に装備しましたが、航空戦には不向きでした。ニューギニア戦線で 12.7mm をもってしてもアメリカ軍の B-17 に苦戦したことから、ブローニングM2/12.7mm 機銃の口径を 20mm にしたホ5を昭和17（1942）年末から逐次転換することに決定し、昭和18年から小倉造兵廠で生産開始しました。



大阪府交野市星田で出土した 20mm 機関砲（交野市人権と暮らしの相談課蔵）

3. 火工廠と防空壕の発掘調査

火工廠に関連する遺構・遺物が確認された試掘・発掘・立会い調査は、1993（平成5）年から断続的に6回、21ヶ所実施され、水溜11基、防空壕5基などが確認されました。昭和17年の構内配置図と照合したところ、水溜はすべて場所が特定できました。今回の企画展では、旧第二小学校跡地、上野台団地敷

地内、権現山遺跡第25地点の調査成果を紹介しています。

旧火工廠跡の試掘、発掘調査、立会調査一覧

	所在地	調査立会い期間	調査原因	遺構名	旧地点名、旧遺構名、備考
(上福岡図書館 予定地)	上野台3丁目3	1993. 1. 12	図書館建設	なし	立木の根元から機関 砲弾が多量に出土し、 警察等に相談して処 理
旧第2小学校跡	上野台1丁目1 ー3	2004. 10. 22	旧市立第2小 学校解体、上 野台団地建 替	2004水槽1※	旧第2小学校跡第2水 槽
		2004. 10. 22		2004水槽2※	旧第2小学校跡第1水 槽
		2004. 12. 1		旧第2小学校跡 防空壕	
歴史民俗資料 館立会調査	上野台1丁目3	2007. 4. 21		ヒューム管	
	上野台1丁目4	2007. 4. 25		H19確認水溜	防火水槽
上福岡貝塚第 1地点	福岡2ー1500 ー23、63	2007. 4. 26～ 5. 17、5. 21～ 6. 12	変電所増築	水溜、不凍消火 栓、配水管	
造兵廠 「火工 廠」跡第 1地点	A区 上野台1丁目	2005. 3. 15	上野台団地 建替「第一ブ ロック先行区」	防空壕1	
	B区 上野台2丁目	2009. 6. 5	上野台団地 建替「第一ブ ロック後工 区、第二ブロ ック」	水溜4	
	C区 上野台3丁目	2009. 6. 17、 8. 20～21		防空壕1	
	D区 上野台2丁目	2009. 6. 22		ヒューム管	
	E区 上野台2丁目	2009. 6. 25～ 26		穴蔵、土坑	
	F区 上野台2丁目	2009. 7. 2～3		排水枡1	
	G区 上野台2丁目	2009. 7. 7～9		水溜5	水溜A
	H区 上野台2丁目	2009. 7. 7～9		水溜2	水溜B
	I区 上野台3丁目	2009. 7. 7～9		水溜6	水溜C
	J区 上野台3丁目	2009. 7. 7～9		水溜7	水溜D
	K区 上野台3丁目	2009. 7. 8～9		防空壕2	
	L区 上野台2丁目	2009. 7. 8～ 8. 3		防空壕3	
	M区 上野台1丁目	2009. 8. 6～7		ヒューム管	
	N区 上野台2丁目	2010. 1. 26		水溜3	
	O区 上野台2丁目	2010. 1. 26～ 7		水溜1	
権現山遺跡第 25地点	福岡2丁目1ー1	2014. 6. 2～ 7. 18、7. 22～ 8. 29	事務所建設	300m射場跡、木 造遺構、排水 枡？	

主として、ふじみ野市教育委員会編『市内遺跡群8』2013年刊を元に作成

※『市内遺跡群8』の記載で、「旧第2小学校跡第1水槽」となっているものを「2004水槽1」とし、「旧第2小学校跡第2水槽」となっているものを「2004水槽2」とした。

○防空壕と水溜の遺物の性格について

出土遺物について、蛇口の栓、きせる、共栄会のどんぶりなどがみつかったことから当時火工廠で学徒動員されて働いた方から証言をうかがいました。

証言の内容を総合すると

- ①原則禁煙であったが、こっそり飲酒、喫煙している人はいた。
- ②水道は通していない。
- ③緊急時であり食事をしたり、共栄会のどんぶりはもちこむようなことはない。

とのことでした。

そのため、

(1)蛇口、どんぶりは、廃棄されたと考えられる。

(2)きせるは壕内に置き去りにされた可能性はあるものの、原則禁煙であることから可能性は低いと考えられる。

(3)何かを収納したと考えられる穴蔵からもきせるが出土しており、施設の性格上、火気を避けるため、使わなくなったものを廃棄したと考えるのが自然である。

と考えられます。

○権現山遺跡第 25 地点出土の軍事機密、軍事極秘、軍事秘密のアルミ札

昭和 12 年 10 月 7 日付け陸軍省令第 43 号及び昭和 14 年 12 月 12 日付け陸軍省令第 59 号として軍機保護法施行規則が公布され、その条文中、「軍機保護法第一條第二項ノ規定ニ依ル陸軍ノ軍事上秘密ヲ要スル事項」として「演習、教育又ハ訓練ニ関スル事項」「資材ニ関スル事項」「図書物件ニ関スル事項」が挙げられ、内容がイロハ順に列举されています。

	内容	出土枚数
軍事機密	一切の事項	187
軍事極秘	名称、機構、性能又は形状	599
軍事秘密	名称、機構又は性能	1208

軍事機密のアルミ札 (300m 射場跡出土)



とくに資材そのものや容器内の資材については秘密の重要度に応じて前掲の表のような一種のランク付けがありました。

そのほか、そのような資材を用いて行う教育、演習、訓練やその計画、法規や官報などで公示されたものを除く図書類も軍事機密、軍事極秘、軍事秘密に分類され、それに基づいて製造する資材、資材の性能試験、実験とその結果、成績などが軍事上の秘密とされ、箱に釘、ネジなどで打ち付ける形でアルミ札がつけられたと思われます。権現山遺跡第 25 地点の調査で前掲の表に示した出土枚数が確認されています。

ふじみ野市の両資料館への資料の寄贈

平成28年 2 月から平成28年 6 月まで次の方々より、各種の文化財資料を寄贈していただきました。紙上をもって厚くお礼申し上げます。

市立上福岡歴史民俗資料館分

2月22日 『武州ガス75年史』 1 冊

武州瓦斯株式会社

3月8日 着物（七才用） 1 点

市内 佐藤純子氏

4月2日 東芝RupoJW-R10 1 台

市内 中里美子氏



『武州ガス 75 年史』昭和 50 年代初頭まで上福岡駅前にあって、団地にガスを供給した上福岡工場について記録されている。



東芝 RupoJW-R10 東芝が 1985 年に販売開始。1 行画面だが、24 ドット印刷、文節変換入力で 10 万円以内という当時では画期的な個人用ワープロだった。